

# 動物科学科

## 天下青年部共進会に 若手農家や高校生参加

### 若手や高校生、育てた和牛

若手農家や高校生らが参加した共進会「高山市冬頭町、飛騨家畜流通センター」



### 天下青年部共進会で競う 高山市

若手農家や農業高校生らが自慢の和牛を競う「第7回天下青年部共進会」が27日、高山市冬頭町の飛騨家畜流通センターであり、約300人が生産技術向上に向けて意識を高めた。

若手育成や仲間づくりのため、県肉用牛協会青年部会が毎年開いている。11月16カ月未満の未經産牛を審査する第1部と、月齢制限はなく系統別に勉強することを目的とした第2部に計

36頭が出品された。

開会式で伊藤俊隆部会長は「日本一の飛騨牛を守っていくという気持ちで、活気ある大会にしたい」とあいさつ。県畜産研究所の職員らによる審査が行われ、県内外からの来場者は出品牛の体形や毛色を見比べて熱心にメモを取った。第1部では高山市高根町の小林剛史さんの「かなで」が優等賞1席に輝いた。

(安井真由子)

その他の入賞者は次の通り。

【第1部】▽優等賞2席 りんか(高山市、新谷畜産)▽3席 よしゆり(同、岩田裕仁)▽4席 はるみ(同、山武ファーム)  
【特別賞】▽顔品賞 せら(郡上市、村瀬啓祐)はなふぶき(同、和田敏彦)▽後駆の充実賞 すないでる(同、郡上せせらぎ牧場)▽肢蹄賞 はなもゆ2(高山市、藤瀬肉牛農場)